



## 2023年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年5月15日

上場会社名 Green Earth Institute株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9212 URL <https://gei.co.jp/ja/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 伊原 智人  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 浦田 隆治 (TEL) 03-5315-0531  
 四半期報告書提出予定日 2023年5月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年9月期第2四半期の業績(2022年10月1日~2023年3月31日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第2四半期	130	△19.9	△162	—	△162	—	△163	—
2022年9月期第2四半期	162	—	△116	—	△140	—	△150	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第2四半期	△14.59	—
2022年9月期第2四半期	△15.27	—

注 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第2四半期	4,709	2,056	43.7
2022年9月期	3,384	2,217	65.5

(参考) 自己資本 2023年9月期第2四半期 2,056百万円 2022年9月期 2,217百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年9月期	—	0.00	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年9月期の業績予想(2022年10月1日~2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	850	45.4	△192	—	△193	—	△195	—	△17.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年9月期2Q	11,231,500	株	2022年9月期	11,146,000	株
------------	------------	---	----------	------------	---

② 期末自己株式数

2023年9月期2Q	—	株	2022年9月期	—	株
------------	---	---	----------	---	---

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年9月期2Q	11,230,560	株	2022年9月期2Q	9,838,033	株
------------	------------	---	------------	-----------	---

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細については、決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9
3. その他	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

世界経済は、長期にわたる新型コロナウイルス感染症の影響に加え、ロシア・ウクライナ情勢に関連した急激な円安の進行、原材料価格やエネルギー価格の上昇により、2022年以降の経済の拡大は鈍化しています。また、欧米におけるインフレ抑制のための金融引締政策は継続しており、依然として先行き不透明な状況が続くことが見込まれます。

当社においては、このような経済背景を踏まえ、国内外、特に海外のパートナー企業の動向も要素の1つとして事業計画を策定しており、政府による規制や新型コロナウイルス感染症による市場の動きに左右されない事業運営を図っております。

また、リモートワーク及び交代出社の導入、WEB会議の推進、並びにマスクの支給及び紫外線殺菌灯の設置等の感染防止対策を徹底し、新型コロナウイルス感染症の影響下においても、従前と変わらぬ事業活動の水準を維持しております。

これにより、2022年9月期末から当第2四半期累計期間にかけて、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(以下「NEDO」という。)や環境省、国立研究開発法人科学技術振興機構より、研究開発事業を受託しており、2021年9月期にNEDOより受託したバイオフィアウンドリ事業(注)を含め、国内外のパートナー企業等とのパイプラインにおいて、大型の研究開発契約を進捗させております。

なお、ロシア・ウクライナ情勢については、円安や物価高等によるパートナー企業の研究開発への投資の留保により、新たなライセンスや研究開発等の契約締結が停滞する可能性があります。2023年9月期の現段階において、当該情勢による直接的な業績影響はございません。

以上の結果、当第2四半期累計期間は売上高130,391千円(前年同期比19.9%減)、営業損失162,282千円(前年同期比39.0%増)、経常損失162,892千円(前年同期比15.6%増)、四半期純損失163,845千円(前年同期比9.1%増)となりました。

当事業年度の業績予想としては、国策としての業務の受託が多く発生していることから、売上高が第4四半期会計期間に集中するため、四半期会計期間別の業績には変動があります。

なお、当社はバイオリファイナリー事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

注 バイオフィアウンドリ事業は、日本における大学や企業等が保有する、バイオリファイナリー技術の商用化のための生産プロセスの開発、実証等を実施するプラットフォーム(バイオフィアウンドリ拠点)を構築、運用する事業(2021年度より6年間総額54億円、このうち建屋及び設備分(25億円程度の予定)は売上高には計上されません。)であります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産

当第2四半期会計期間末における流動資産は4,688,153千円となり、前事業年度末に比べ1,303,847千円増加いたしました。これは主にバイオフィアウンドリ事業における設備投資等費用の概算額の入金により現金及び預金が167,880千円、バイオフィアウンドリ事業における設備投資のうちNEDOの所有分により立替金が898,601千円、及び仕掛品が263,340千円増加した一方、受取手形及び売掛金が36,810千円減少したことによるものであります。固定資産は21,539千円となり、前事業年度末に比べ21,539千円増加いたしました。これは主にリース資産が16,782千円増加したことによるものであります。この結果、総資産は4,709,693千円となり、前事業年度末に比べ1,325,387千円増加いたしました。

#### ② 負債

当第2四半期会計期間末における流動負債は2,451,702千円となり、前事業年度末に比べ1,476,855千円増加いたしました。これは主にバイオフィアウンドリ事業における設備投資等費用の概算額の入金により仮受金が1,075,599千円、及び未払金が446,713千円増加したことによるものであります。固定負債は201,543千円となり、前事業年度末に比べ9,857千円増加いたしました。これは主にリース資産の賃貸借により長期リース債務が12,273千円増加したことによるものであります。

#### ③ 純資産

当第2四半期会計期間末における純資産合計は2,056,447千円となり、前事業年度末に比べ161,325千円減少いたしました。これは主に新株予約権行使により資本金が2,520千円、資本準備金が2,520千円増加した一方、利益剰余金が163,845千円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は43.7%(前事業年度末は65.5%)となりました。

#### ④ キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物(以下、本項目において「資金」という。)については、前期末より167,880千円増加し、2,908,849千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

a 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、獲得した資金は174,669千円(前年同期は258,327千円の資金獲得)となりました。これは主にバイオフィアウンドリ事業における設備投資等費用の概算額の入金による仮受金の増加額1,075,599千円、未払金の増加額446,253千円、及び受取手形及び売掛金の回収に伴う売上債権の減少額36,810千円等の増加要因があったものの、同事業における設備投資のうちNEDOの所有分による立替金の増加額898,601千円、税引前四半期純損失162,892千円、主として売上高に紐づく研究開発活動にかかる仕掛品を含む棚卸資産の増加額263,016千円、及び前受金の減少額45,912千円等の減少要因によるものであります。

b 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、支出した資金は4,761千円(前年同期は41,581千円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出4,761千円の減少要因によるものであります。

c 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、支出した資金は2,028千円(前年同期は1,608,834千円の資金獲得)となりました。これは主にリース債務の返済による支出2,265千円及び長期借入金の返済による支出2,220千円の減少要因によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症による影響については、当社の業績に与える影響は軽微であり、2023年9月期の業績予想につきましては、2022年11月14日に公表いたしました業績予想の数値から変更はありません。当資料に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等はロシア・ウクライナ情勢等今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,740,969	2,908,849
受取手形及び売掛金	87,640	50,829
仕掛品	149,623	412,964
貯蔵品	2,191	1,867
前渡金	16,645	3,270
前払費用	4,016	5,435
立替金	380,307	1,278,909
未収消費税等	5,892	25,808
その他	—	220
貸倒引当金	△2,979	—
流動資産合計	3,384,305	4,688,153
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	0	0
建物附属設備（純額）	0	505
機械及び装置（純額）	0	2,578
工具、器具及び備品（純額）	0	1,673
リース資産（純額）	—	16,782
有形固定資産合計	0	21,539
無形固定資産		
ソフトウェア	0	0
無形固定資産合計	0	0
固定資産合計	0	21,539
資産合計	3,384,306	4,709,693

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	4,070	4,070
リース債務	—	4,640
未払金	34,900	481,613
未払法人税等	14,894	10,007
前受金	46,050	137
仮受金	871,779	1,947,379
その他	3,152	3,854
流動負債合計	974,846	2,451,702
固定負債		
長期借入金	191,490	189,270
リース債務	—	12,273
長期未払金	196	—
固定負債合計	191,686	201,543
負債合計	1,166,533	2,653,246
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,596,272	1,598,792
新株式申込証拠金	5,040	2,520
資本剰余金		
資本準備金	1,586,272	1,588,792
資本剰余金合計	1,586,272	1,588,792
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△969,992	△1,133,837
利益剰余金合計	△969,992	△1,133,837
株主資本合計	2,217,592	2,056,267
新株予約権	180	180
純資産合計	2,217,772	2,056,447
負債純資産合計	3,384,306	4,709,693

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年10月1日 至2022年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自2022年10月1日 至2023年3月31日)
売上高	162,787	130,391
売上原価	75,785	38,055
売上総利益	87,002	92,335
販売費及び一般管理費	203,771	254,617
営業損失(△)	△116,769	△162,282
営業外収益		
受取利息	6	14
為替差益	480	—
助成金収入	1,865	185
講演料等収入	231	246
その他	1	—
営業外収益合計	2,585	447
営業外費用		
支払利息	436	719
為替差損	—	275
株式交付費	6,673	62
上場関連費用	19,569	—
その他	0	—
営業外費用合計	26,680	1,057
経常損失(△)	△140,864	△162,892
特別利益		
固定資産売却益	20	—
特別利益合計	20	—
税引前四半期純損失(△)	△140,844	△162,892
法人税、住民税及び事業税	9,400	952
四半期純損失(△)	△150,244	△163,845



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失 (△)	△140,844	△162,892
減価償却費	14,263	2,665
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,082	△2,979
受取利息及び受取配当金	△6	△14
助成金収入	△1,865	△185
支払利息	436	719
上場関連費用	19,569	—
株式交付費	6,673	62
有形固定資産売却損益 (△は益)	△20	—
売上債権の増減額 (△は増加)	61,239	36,810
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△121,116	△263,016
立替金の増減額 (△は増加)	△528,650	△898,601
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△27,689	11,736
未払金の増減額 (△は減少)	300,573	446,253
未払又は未収消費税等の増減額	△25,280	△19,916
仮受金の増減額 (△は減少)	719,953	1,075,599
前受金の増減額 (△は減少)	△11,312	△45,912
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	3,400	△3,238
その他	0	—
小計	267,243	177,088
利息及び配当金の受取額	6	14
助成金の受取額	1,865	185
利息の支払額	△436	△719
法人税等の支払額	△10,350	△1,899
営業活動によるキャッシュ・フロー	258,327	174,669
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△34,005	△4,761
有形固定資産の売却による収入	20	—
無形固定資産の取得による支出	△7,596	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41,581	△4,761
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	1,611,201	—
長期借入金の返済による支出	△2,220	△2,220
リース債務の返済による支出	△5,587	△2,265
その他の収入	5,440	2,457
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,608,834	△2,028
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,825,580	167,880
現金及び現金同等物の期首残高	827,069	2,740,969
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,652,649	2,908,849

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染が持続していることから、当社においても今後の業績に影響が及ぶ可能性があります。そのため、2023年9月期の中期経営計画については、2023年9月期以降も新型コロナウイルス感染症の影響が継続するものと仮定し、入国制限措置等の事業活動への制限を考慮して策定しており、当事業年度の財務諸表の作成にあたっては、当該中期経営計画を主要な情報として、固定資産の減損会計等の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社はバイオリファイナリー事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載は省略しております。

3. その他

該当事項はありません。